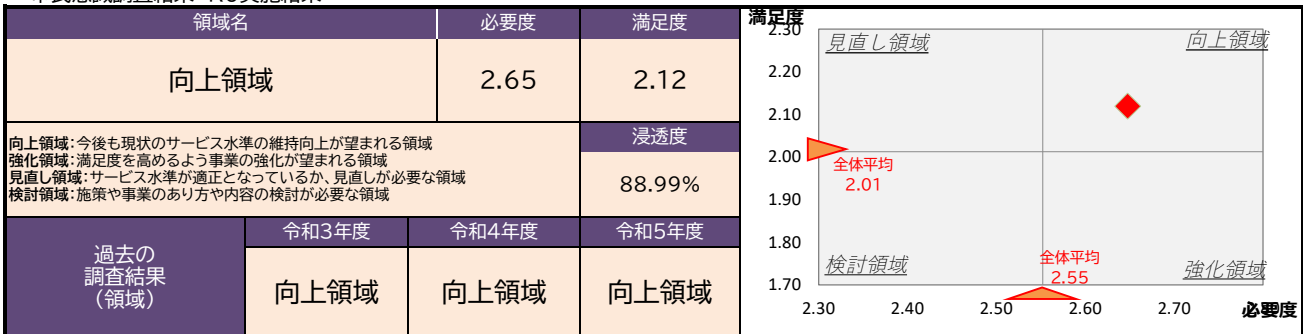


コード	Ⅲ-7-12	施策名	自主的な防災活動及び防災教育の推進
まちづくりの目標	自助・共助の精神を持った市民が暮らす、災害に強いまち(防災)	施策の方針	災害に強い組織・人をつくる
5年後のめざす姿	市民一人ひとりが、地震・津波・豪雨災害などさまざまな災害に対して防災意識を身につけられる取り組みを推進します。すべての住民が「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、主体的に判断・行動し、実践できる体制づくりをめざします。		
施策の課題	津波による被災が想定される地域においては、活発な防災活動が見られますが、内陸部においては防災意識が乏しい地域もあります。地域における訓練等の支援と防災教育・学習の充実を図り、災害に強いまちづくりに取り組みます。また、個別の防災については、家具の転倒防止など自らの命を守る取り組みを強化します。		

<施策の進捗を測るものさし(指標) ~ 第2次白杵市総合計画 後期基本計画>

新規指標	指標名	指標の説明	指標数値の推移							
			単位	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
	家具の転倒防止対策をしている家庭の割合	白杵市よりよいまちづくりアンケートで「あなたは家具の転倒防止対策をしていますか」の質問に「はい」と回答した市民の割合(「はい」の回答数/全回答者数)	目標	%	34.0	38.0	42.0	46.0	50.0	
			実績	%	29.8	33.0	38.0	36.8	38.0	38
			達成率	%	97.1%	100.0%	87.6%	82.6%	76.0%	
	防災スタンプラリー開催小学校数	多種多様な災害を学習する防災スタンプラリーの開催校	目標	校	13	13	13	13	13	
			実績	校	-	-	-	2	3	3
			達成率	%	-	-	15.4%	23.1%	23.1%	
	小中学校における防災訓練の実施校数	年3回以上防災訓練を実施した小中学校数	目標	校	18	18	18	18	18	
			実績	校	18	18	18	18	18	
			達成率	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	自主防災組織等の自主的な活動件数	自主防災組織等の自主的な訓練及び研修補助金申請件数	目標	件	85	100	115	130	145	
			実績	件	68	48	49	60	102	81
			達成率	%	56.5%	49.0%	52.2%	78.5%	55.9%	
○	幼児保育施設における防災訓練の実施数	年1回以上防災訓練を実施した保育施設数	目標	件	-	-	11	11	11	
			実績	件	-	-	11	11	11	
			達成率	%	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	
			目標							
			実績							
			達成率	%						
			目標							
			実績							
			達成率	%						
指標の進捗状況	概ね順調	指標の分析	・防災訓練については、定着している地区もあり、「自分の命は自分で守る」という意識が深化しているもの一方で家具転倒防止など防災の取り組みが浸透していない結果が出ています。 ・自主的な訓練については、取り組む地区振興協議会の規模により差が出ているが、全地区で取り組むよう啓発を強化する必要があります。 ・小中学校および保育園・子ども園において防災訓練への取組みが活発化しています。 ・防災スタンプラリーは全小学校開催を目指して活動しているものの、小学校側のイベント実施時期や内容についての決定時期までに学校へのPRが足りず、先生方への意識付けができなかったと思われます。							

<市民意識調査結果 R6実施結果>



<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課	事業費(単位:千円) ※人件費含まない		評価シート作成の有無	課長評価			重点事項
			R5年度実績	R6年度実績		進捗状況	今後の方針	施策への貢献度	
1	家具転倒防止対策推進	防災危機管理課	-	-	無	-	-	-	
2	小中学校における防災教育及び訓練	防災危機管理課	-	-	無	-	-	-	
3	ジュニア防災リーダーの育成	防災危機管理課	-	-	無	-	-	-	
4	防災訓練の強化・充実	防災危機管理課	1,672	1,102	無	-	-	-	○
5									
6									
7									
8									
9									
10									
合計			1,672	1,102					

※事務事業評価シートは対象となる要件を満たした事業のみ作成しています。

施策の評価 (今後の施策の方向性)

- 評価の選択肢 ○ 向上 … 現状の通り維持向上する ○ 強化… 現状より強化を図る  
 ○ 見直し … 現状を見直し適正化を図る ○ 検討… 現状の抜本的な検討を行う

<担当課評価>…評価者 担当所屬長

担当課評価	評価の理由と次年度以降の取組
強化	自助の取り組みとして、「自らの命を守る」という意識の醸成を図る必要があります。地区住民の高齢化等により、活動が年々厳しくなっている地区もあると思われませんが、家具などの転倒防止対策や命を守るために「まず逃げる」という考えのもと住民主体での声掛け訓練や避難訓練等による、「自助」「共助」のさらなる深化、醸成が重要と考えます。また、地域内での要配慮者避難行動計画の作成についても、福祉課と協力して推進していく必要があります。